

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成19年10月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

需要面・・・個人消費は弱い動きとなっている。

大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額とも前年を下回った。(7月)

乗用車新車新規登録台数は前年を上回ったが、新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額、公共工事請負金額は前年を下回った。(8月)

産業面・・・一部に弱い動きが見られるが、おおむね横ばい圏内の動きとなっている。

鉱工業生産指数は季節調整済指数が前月を上回ったが、原指数は前年を下回っている。(7月)

雇用面・・・一部に持ち直しの動きが見られる。

現金給与総額、所定外労働時間とも前年を上回った。(7月)

求人倍率は、新規、有効とも前月を上回った。(8月)

需要面の動き

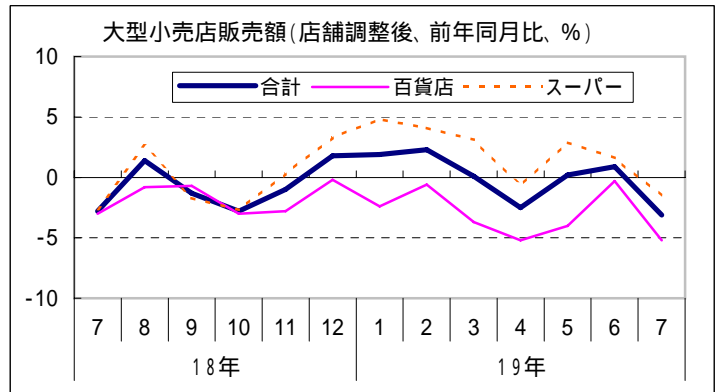
大型小売店販売額(7月)

全店舗の販売額は、56億7,732万円(前年同月比3.1%減)と3か月ぶりに前年を下回り、店舗調整後でも3か月ぶりに前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	567,732	3.1 (3.1)
百貨店	230,405	5.2 (5.2)
スーパー	337,327	1.5 (1.5)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(7月)

35億2,164万円(前年同月比6.4%減)と4か月続いて前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数(8月)

1,336台(前年同月比0.8%増)と14か月ぶりに前年を上回った。増加の内訳では、普通車の増加(前年同月比27.3%増)が大きかった。

新設住宅着工戸数(8月)

220戸(前年同月比7.6%減)と3か月続いて前年を下回った。減少の内訳では、持家の減少(前年同月比16.6%減)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(8月)

13億2,680万円(前年同月比31.6%減)と3か月続いて前年を下回った。用途別では、その他のサービス業用(前年同月比71.4%減)等が前年を下回った。

公共工事請負金額(8月)

75億4,200万円(前年同月比15.3%減)と2か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、国の減(前年同月比51.0%減)が大きな割合を占めた。

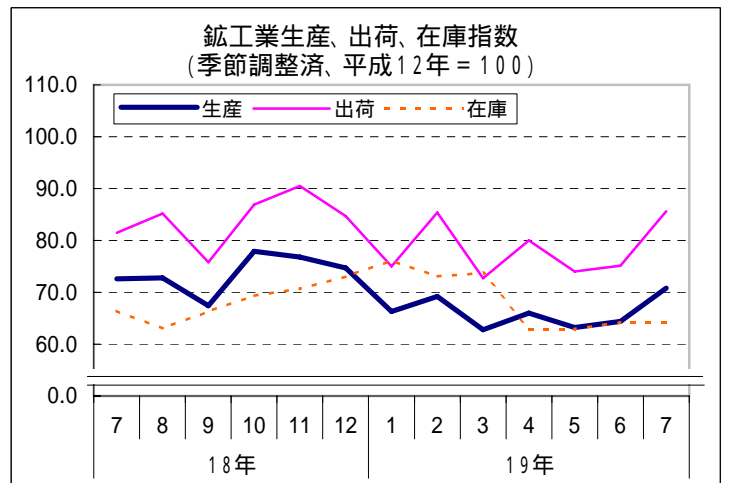
産業面の動き

鉱工業指数(7月)

生産指数(季節調整済)は70.8(前月比9.9%上昇)と2か月続いて上昇し、原指数は68.3(前年同月比0.7%低下)と7か月続いて低下した。

内訳を前月比で見ると、電気機械が通信機械器具等の生産増により29.7%上昇、食料品・たばこが2.6%上昇、一般機械が7.1%低下、繊維が9.0%低下した。

在庫指数(季節調整済)は64.2と前月と同水準であった。



大口需要電力実績(7月)

148,356千kwh(前年同月比2.5%減)と2か月続いて前年を下回り、鉱工業もパルプ・紙が減少し0.3%減少した。

青果物卸売量(8月、鳥取市場)

野菜が1,397t(前年同月比2.9%増)と2か月続いて前年を上回り、果実は1,122t(前年同月比7.0%減)と2か月続いて前年を下回った。

漁獲量(8月、境港)

5,233t(前年同月比13.1%減)と3か月ぶりに前年を下回った。

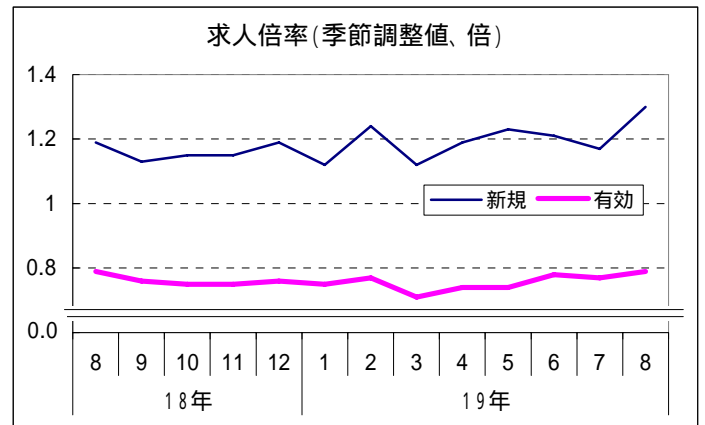
雇用・金融面の動き

新規求人倍率(8月)

1.30倍(前月差0.13ポイント上昇、前年同月差0.11ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、4,347人で前年同月比7.4%の増であった。

有効求人倍率(8月)

0.79倍(前月差0.02ポイント上昇、前年同月と同水準)と9年6か月続いて1.0倍を割っている。



現金給与総額(7月)

351,278円(前年同月比12.7%増)と2か月ぶりに前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与は、251,690円(前年同月比1.8%増)で2か月続いて前年を上回った。

所定外労働時間(7月)

9.0時間(前年同月比4.2%増)と2か月続いて前年を上回った。主力の製造業は8.7%減となった。産業別の前年同月比では、複合サービス事業(前年同月比213.1%増)等で前年を上回り、サービス業(前年同月比18.1%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(7月末)

預金残高は、1兆8,910億円(前年同月比2.3%増)と11か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,419億円(前年同月比2.1%減)と11か月続いて前年を下回った。

参考

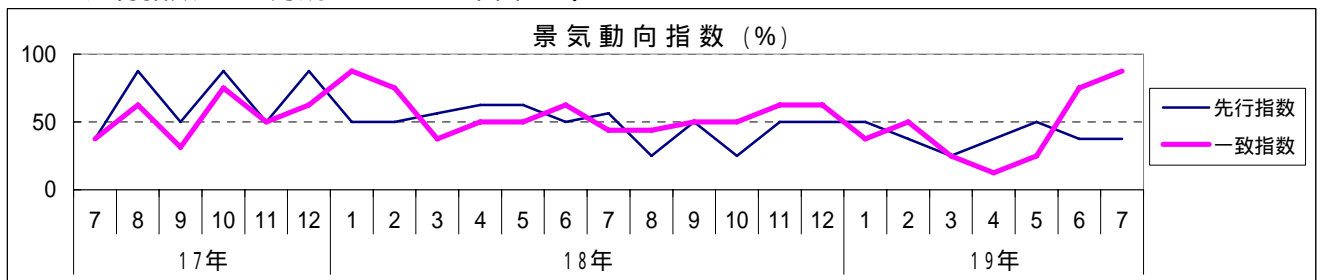
鳥取県景気動向指数(7月)

先行指数37.5%、一致指数87.5%、遅行指数20.0%となった。

先行指数は2か月続いて50%を下回った。

一致指数は2か月続いて50%を上回った。

遅行指数は3か月続いて50%を下回った。



企業倒産(8月)

件数は2件(前年同月比50.0%減)で2か月ぶりに前年を下回り、負債総額も2億4,000万円(前年同月比83.7%減)で2か月ぶりに前年を下回った。

消費者物価指数(8月、鳥取市、総合、平成17年=100)

100.1となり、前月比(0.9%上昇)は3か月ぶりに上昇し、前年同月比(0.1%上昇)は2か月続いて上昇した。

鳥取県の推計人口(9月1日現在)

600,035人で、前月と比べて142人(0.02%)減少し、前年同月と比べて4,231人(0.70%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成19年8月調査)

平成19年10～12月期は、平成19年7～9月期に比べると景気、売上高、経常利益ともやや好調となる見通しとなっている。